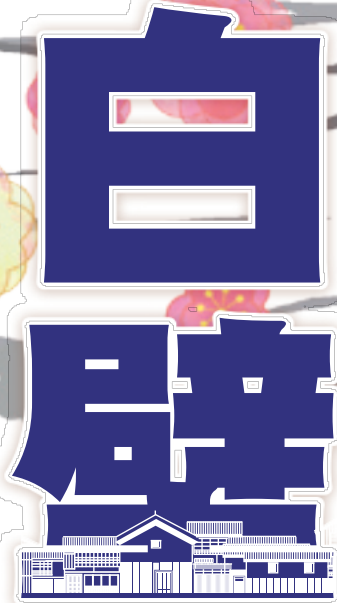
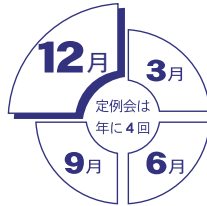


今号の内容

市民の声・3月定例会・編集後記	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
行かないや、議会に											
議案等の議決結果・視察報告											
1月臨時会											
議案等の議決結果											
常任委員会・特別委員会											
議案質疑											
市政に対する一般質問											

12月定例会

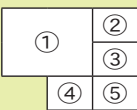


倉吉市議会だより

倉吉市庁舎建設の8ミリフィルム公開上映(2月3日(日))



- ①公開上映の様子
- ※企画課広報係提供
- 【昭和30年代の写真】
- ②倉吉市庁舎(西側)
- ③倉吉市庁舎(東側)
- ④議会傍聴の様子
- ⑤議会の様子
- ※②～⑤倉吉博物館提供



約60年前の倉吉市役所建設
工事記録映像見つかる

倉吉市庁舎建設の8ミリフィルムが見つかり、成徳公民館で公開上映が行われました。上映の様子と共に、昭和30年代の市役所や議場の写真をご覧ください。



くまのこ No. 8

発行日:平成31年3月1日



【一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は、25分です。

市政の課題を洗い出し、解決策を探る

平成30年12月第6回倉吉市議会定例会が、12月3日(月)から12月19日(水)まで開催され、平成30年度一般会計補正予算などについて審議されました。

会議録(質問、答弁など)は、市立図書館でご覧になれます。

市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

会派名	議員名	発言通告要旨
くらよし・アイズ、草の根、つばき、倉吉自民共同	大月 悦子	倉吉市における障がい児支援について
		第7期倉吉市介護保険事業計画、高齢者福祉計画
		政治分野における男女共同参画の推進に関する法律について
	丸田 克孝	災害時の避難について
		防災対策について
	藤井 隆弘	若者のコンパクトシティについて
		持続可能なまちづくり
	大津 昌克	議会だよりについて
		インフルエンザ予防接種補助について
		歳出科目である予備費(地方自治法第217条)の考え方について
行財政改革について		
小中学校普通教室のエアコン設置計画の現状について		
福谷 直美	小学校適正配置計画について	
	公共施設の喫煙状況と対策について	
	今後の公共事業を民間資金を活用したPPP/PFI活用について	
新政会	福井 康夫	県立美術館について
		倉吉市長の政治姿勢について
		中心市街地の活性化について
		教育行政について
		主権者教育の取組みについて
	由田 隆	旧山守小学校の跡地活用について
		みどりの券売機プラスの導入について
		台風24号の教訓化について
		小中学校プール飛び込み禁止について
		子どもは宝、教育環境について
伊藤 正三	不安を抱えている妊産婦への支援について	
	市長の政治姿勢を問う	
	山口 博敬	羅州市との交流について
公明党・グリーン共同	山口 博敬	防災対策について
		教育行政について
		農林業振興について
	鳥飼 幹男	防災・減災対策について
		農地付き空き家について
		街路灯の維持管理について
鳥羽 昌明	倉吉市の防災・減災対策について	
	インフルエンザ予防接種費の助成について	
	小中学校へのエアコン設置のスケジュール、事業方式について	
くらよし創生	佐々木 敬敏	農業振興について
		風疹対策について
		保育無償化について
		学校教育について
日本共産党	米田 勝彦	まちづくりについて
		災害対応について
		地球温暖化について
		風疹対策について
(無所属)	朝日 等治	小学校統合問題と教育問題について
		地域コミュニティについて

◎印のついた質問は、次頁以降詳細に記載しています。

一般質問通告一覧表より

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。





大月 悦子

障がい児支援について小・中学校の連携、継続した支援、合理的配慮の提供、学校のバリアフリー化は

答

【小椋教育長】(合理的配慮の提供) 特別支援教育支援員の全小・中学校への配置、通級指導教室の小学校への設置、福祉サービスとの連携による通学支援を行っている。 <小・中学校の連携、継続した支援 教育支援計画・教育指導計画をもとに園から高校まで切れ目のない支援制度を整備。小学校就学時の

移行支援は、子ども家庭課と学校教育課とで取り組んでいる。 <バリアフリー化 校舎の増改築・耐震化・改修などの際に取り組んでいる。エレベーターは4小・1中学校に設置。2020年ごろまでの各学校施設長寿命化計画策定に合わせ、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入について考えていきたい。



丸田 克孝

避難場所の開設は、安全な施設で、民間の協力を得ながら増設してはどうか

答

現在は、避難所の開設に職員の配置などもあつて、1地区1か所を基本にしている。洪水の可能性がある場合は、高い場所への垂直避難ができる学校を中心に指定している。 自治公民館と話をしているが、市職員だけでは対応が困難なことも事実。地域住民の避難所運営へ

の関わりも含め、避難所のあり方を整理した上で、場所の問題を整理したい。 指定避難所だけでなく、一時避難所を運用し、活用していくのは有効な方法。そういったことも含めて、避難所のあり方について、弾力的に有効な方法を考えていきたい。



藤井 隆弘

倉吉と縁のあるノーベル賞受賞者 本庶佑さんを招へいし、講話などで子どもたちに夢や希望を

答

【小椋教育長】(本庶佑さんの妻 子さんが倉吉出身) 本庶さんのノーベル賞の受賞ということで、おめでたい話なので市長に報告し、市長からも「何か考えられないか」ということだった。小・中学校だけでなく、高校にも連絡をとりながら何かできることはないか探していきたい。



ほんじよたすく



大津 昌克

第3次行財政改革計画は計画通りに進んでいるか。現時点での進捗状況について

答

今年度は見直しの方向性や効果などの検討を始めた段階。補助金などについてはガイドラインを策定し、原則3年以内の周期で見直していく。関金地区音声告知放送システムの防災行政無線移行や、軽自動車税納税通知書の封入・封緘業務委託などは直ちにすすめていく。全体的な進捗状況把握のため

にロードマップを作成、四半期ごとに行財政改革推進本部で点検、半年ごとに行政改革懇談会で意見をいただき、実施可能なものは平成31年度予算に計上したい。真剣にやっつけていかないと持続可能な行政運営ができなくなるという気持ちで職員全員で取り組むよう指示している。





福谷 直美

健康増進法改正による市の施設での禁煙対策と受動喫煙防止条例制定への取り組みは

答

現在の公共施設の喫煙場所は、屋内6か所、屋外60か所。小・中学校は平成25年12月から敷地内禁煙を実施済み。市役所の屋内喫煙場所は平成30年12月末で廃止し、敷地内禁煙を実施。ほかの公共施設は、施設管理者の意向を調査し方針を決定したい。屋外喫煙場所の設置などは、今後の国の政省令の内容、喫煙者の状況、他市の対応状況などを見て、改めて検討したい。条例制定は、まずは改正健康増進法の施行について万全を期したい。施設の類型に応じ一定の場所以外での喫煙が禁止になり、罰則規定も設けられるので、政省令の適用を指導する必要がある。その状況を見たうえで、必要性を判断したい。



福井 康夫

18歳選挙権が施行され、本市の投票率向上対策と、今後の主権者教育の充実について

答

【岸田選挙管理委員会委員長】本市の投票率は選挙のたびに低下。飛躍的に向上させる特効薬は残念ながらない。投票率向上には、正しい選挙推進協議会との連携を一層強化するなど、地道に選挙啓発活動を推進し、有権者に「自分へと必ずつながるその一票」の認識を深めてもらうことが大切。

平成29年10月、選挙権年齢が18歳以上になって初の市議会議員選挙が行われた。投票率は19歳26%、20歳24%に対し、18歳は44%。主権者教育が定着した成果が表れているのではないかと。主に高校では選挙講座や模擬投票を行っている。今後も学校の要望に応じ、意欲的に取り組みたい。



由田 隆

台風24号の教訓化 国府川水系の河川整備と維持管理および「八代井手」の改修について

答

いずれの管理河川も河床が上昇し、洪水の危険性を高めている状況がある。維持管理こそ本当に大事な時代になっていると思う。

維持管理が適切に行われないと災害の危険性が高まるので、自らの努力もだが、国や県に対してもしっかりと要望していきたい。

八代井手についても、解決しないといけない問題であるので、どうすれば解決できるか河川管理者である国土交通省ともよく相談をし、早期に結論を出していきたい。



竺原 晶子

小中学校プール飛び込みと市民水泳大会について

答

【小椋教育長】学習指導要領に水中からのスタートの指導が明記してあり、授業中の飛び込みは指導していない。放課後の課外活動では、飛び込み台からの飛び込みはやめると伝えている。飛び込みの指導には、飛び込み台の高さとプールの深さの適合が必要であり、さらに県教育委員会主催の水泳指導研

修会を受講した教員が指導するとうつこの要件を満たす必要がある。

いくつか適合しているプールがあるので、市民水泳大会の会場選定には十分気を付けたい。





伊藤 正三

新

クライミングアジア選手権開催 今後この経験を、市としてどのように地域活性化につなげるか

答

平成29年7月に実行委員会が設立され、市はおもてなし担当部会として宿泊、飲食施設、歓迎、総合案内、通訳、ボランティア、PR、体験ブース、駐車場など多くの役割を担った。5日間で約5千人が来場し、期間中は周辺施設も大変にぎわっていたと認識している。スポーツクライミングへの関心が高まってきたところであり、大会の誘致だけでなく、日本代表の強化合宿や東京オリンピックの各名を発信できる絶好の機会となるのではないかと思う。今後、実行委員会の総括を行いながら、関係団体と連携し、継続的な取り組みにつなげていきたい。



山口 博敬

公

地域の防災力を高めるため、自助・共助・公助のバランスが課題だが、市の対応は

答

自主防災組織の組織率は平成30年11月19日現在で84.9%。高齢化・人口減少の影響で、担い手・人材不足で活動が難しい未結成の集落があることも事実。防災普及指導員による助言や防災マップ作成支援など行っているが、それだけではカバーできない集落もある。平成30年度から地区防災計画のモデル事業を上北条地区で取り組んでいる。地区防災計画の策定により、単独での自治公民館の防災活動が困難な地域も、地区内の自治公民館同士での共助による防災活動が期待され、結果的に自主防災組織の立ち上げの支援につながっていくと思う。自主防災組織をできるだけ100%に近づける努力をしたい。



鳥飼 幹男

公

農地法の要件を緩和し、定住促進と耕作放棄地の解消を図る「農地付き空き家」制度の新設を

答

農地法では農地などの権利を得る場合の面積について、本市では一番小さいところで10アールを下限に定めているが、下限面積より低い面積の取得を農業委員会が個別に設定できる。これと、移住者の住居の確保など、空き家の有効活用を目的に平成21年度から制定している空き家バンク制度を使い、農地付き空き家を制度として作ることは可能だと思ふ。空き家バンク情報に農地付き空き家を掲載することで、空き家バンクの充実や、さらなる移住定住につながれば大変いいことだと思ふ。農業委員会とも相談しながら実態に即して対応していきたい。



鳥羽 昌明

公

子どもへのインフルエンザ予防接種の助成対象を小・中学生まで拡充すべきでは

答

任意接種の場合、自治体がどこまでやるかというのはいろいろ考へ方がある。施策の選択の中でどのようにするのかということになる。平成31年度の予算編成の中でしっかりと考えていきたい。国による定期接種になれば、財政的にもかなり問題はクリアになつてくるので、国政の間でも努力





農業振興について 特産品の生産振興策、果樹共済掛金助成は必要と考える

答 平成31年1月から収入保険制度が始まり、果樹共済かいずれかの保険制度を選択しないといけないということになる。

共済への加入も重要と考えるので、果樹共済加入掛金助成は継続する方向で考えていきたい。

その一方で、青色申告を行っていない人については、収入保険制度に入れない。

収入保険制度に加入できない農業者の経営安定を考えると、果樹



佐々木 敬敏

創



まちづくりの基本は、便利な交通網、具体的な目標、情報の周知継承。的確な取り組みを

答 より利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの姿を示すため、鳥取県中部地域公共交通網形成計画を策定。交通網、特に公共交通は、高齢化の時代の中で非常に重要な役割を果たすと思うので、利便性の高い交通網形成に向けて努力したい。そして元気な倉吉をつくるため、第11次倉吉市総合計画

を踏まえ、調和・快適・活気・魅力・安全・協働をキーワードとして都市計画マスタープランを策定した。市民アンケートや市民対話集会、ふれあいトークなどで市民のニーズなど情報収集をしてきた。今後も若者の意見を反映できる場の提供ができれば、元気な倉吉になるよう引き続き努力したい。

米田 勝彦

創



風疹が全国的に流行しているが、一部補助ではなく、全額補助すべきではないか

答 風疹の全国的な累計患者数が2032人と、5年ぶりに2000人を超えた。県内の発生状況は平成27年度1人、平成29年度1人、平成30年度2人。そのうち1人は倉吉市で発生。大きな流行というわけではないが、全国的に警戒すべき状況である。

費用助成事業で、妊娠を希望する風疹抗体価の低い女性と妊婦の配偶者を対象に費用の3分の2（上限8千円）を助成している。

なお、風疹の流行に対して、平成31年1月以降、県では助成の見直し、対象の拡大などを考えているようなので、市もそれを踏まえて対応していきたい。

佐藤 博英

日



自治公民館加入率の向上策の策定と、地区公民館に本市職員を配置し、機能を向上させては

答 転入者に対して、自治連との連名で加入促進チラシを配布、希望のあった自治公民館にチラシを配布し加入を呼びかけている。ただし、自治公民館は住民の自主性を尊重した活動を行う団体であり、強制的な加入や義務化は難しい。自治連と問題意識を共有し、対策もよく検討したい。自治公民館活

動をPRしていくことが望まれる。各地区への専任の正職員の配置は現在の定員管理状況では難しいが、地域を担当してアドバイザーかかわりを持つ職員を配置することは職員提案の中でも出てきた。こういった関わり方ができるか勉強し、検討したい。

朝日 等治

無



【議案質疑】

【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では質疑回数は1議題5回までとなっています。

議案の疑問を質す—12月10日(月)には、執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。

議員名	通告	担当部局
米田 勝彦	一般補正 保健衛生一般(鳥取県救急電話相談事業費負担金)	健康福祉部
	一般補正 小学校就学援助	教育委員会
	一般補正 公共土木単独災害復旧	建設部
藤井 隆弘	一般補正 コミュニティ助成事業費補助金	企画産業部
	一般補正 保育所運営(低年齢児受入保育所保育士特別配置事業委託料)	健康福祉部
	一般補正 保育所運営(保育所等整備交付金)	健康福祉部
大津 昌克	一般補正 緑の産業活力創生プロジェクト事業	企画産業部
	一般補正 保健衛生一般(鳥取県救急電話相談事業費負担金)	健康福祉部
	湯命館 倉吉市せきがね湯命館の指定管理者の指定について	企画産業部
佐々木 敬敏	都市交流 倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について	企画産業部
	専決補正 公共土木単独災害復旧	建設部
	一般補正 緑の産業活力創生プロジェクト事業	企画産業部
由田 隆	一般補正 現年度補助災害復旧	企画産業部
	一般補正 現年度単独災害復旧	企画産業部
	専決補正 水防費	総務部
山口 博敬	専決補正 災害対策費	総務部
	一般補正 保育所費	健康福祉部
	基金条例 倉吉市基金条例の制定について(磯野長蔵記念三松奨学育英基金)	教育委員会
福井 康夫	一般補正 公園費	建設部
大月 悦子	一般補正 小学校就学補助	教育委員会
	一般補正 中学校就学補助	教育委員会
	損害賠償 倉吉市基金条例の制定について(磯野長蔵記念三松奨学育英基金)	教育委員会
佐藤 博英	一般補正 観光施設維持管理事業(関金地区)	企画産業部
	損害賠償 議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	教育委員会
	介護補正 介護予防サービス等諸費	健康福祉部
伊藤 正三	一般補正 職員手当等(退職手当)	総務部
	一般補正 緑の産業活力創生プロジェクト事業	企画産業部
	一般補正 交通安全対策(高齢者免許返納補助金)	総務部
朝日 等治	一般補正 職員手当等(時間外及び休日勤務手当)	総務部
	一般補正 緑の産業活力創生プロジェクト事業	企画産業部
	体育施設 倉吉市体育施設の指定管理者の指定について	教育委員会
笠原 晶子	公民館 倉吉市公民館の指定管理者の指定について	教育委員会
	一般補正 交通安全対策	総務部
朝日 等治	一般補正 林業振興費(委託料)	企画産業部

※掲載は通告順です。発言順とは異なります。

損害賠償	報告第13号 議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	基金条例	議案第73号 倉吉市基金条例の制定について
専決補正	議案第65号 専決処分について(平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第6号))	湯命館	議案第78号 倉吉市せきがね湯命館の指定管理者の指定について
一般補正	議案第67号 平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)	都市交流	議案第79号 倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について
介護補正	議案第68号 平成30年度倉吉市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	体育施設	議案第82号 倉吉市体育施設の指定管理者の指定について
		公民館	議案第84号 倉吉市公民館の指定管理者の指定について





【常任委員会】

【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

企画産業常任委員会

委員

由田 隆 委員長
福谷 直美 副委員長
大月 悦子 委員
山口 博敬 委員
米田 勝彦 委員

執行部

企画産業部、農業委員会

企画産業常任委員会には9件の議案と1件の陳情が付託され、平成30年12月12日(水)に委員会審査が行われました。

議案第67号 平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)の審査では、ナラ枯れ防除事業について、ペットボトルを利用した装置での害虫の捕獲に成果があり、市だけではなく県とも相談しながら実施したい、また、単県斜面崩壊復旧事業については、早期に工事着手し、出来るだけ早く完了したいとの答弁がありました。

【行政視察報告】

とき：平成31年1月28日(月)～1月30日(水)

視察先および視察内容

- ①大分県大分市
「おおいた魅力発信局の取り組みについて」
- ②宮崎県日向市
「しごと創生拠点の取り組みについて」



審査の結果、付託された議案は、すべて全会一致で承認、可決され、陳情第10号 航空機の安全運航に係る意見書提出については、趣旨採択されました。

■おおいた魅力発信局の取り組みについて

国内外への情報発信を行うために平成30年4月に設置された。全国で行われる大分関連イベントや全国大会などでのPR活動、指原莉乃大分市観光大使3期目就任式の開催による全国メディア露出、ラグビーワールド

カップに向けた海外プロモーションなどを実施。また廃校を利用したアーティストの移住支援やアートによる地域活性化に取り組む「アートレジオン推進事業」を実施している。

■しごと創生拠点の取り組みについて

起業・創業支援や地元企業間のビジネスマッチング、利用者の交流を促進し、市の産業発展に寄与することを目的に平成30年6月に設置された。公募で選ばれたプロジェクトマネージャーが起業・創業のサポート

を行う。併設の日向市産業支援センター「ひむかBiz」と連携して中小企業の売り上げアップへの支援を行っている。月に200～400人が利用、開設から半年で約20人が施設の利用により新規雇用につながった。

教育福祉常任委員会

委員

佐藤 博英 委員長
丸田 克孝 副委員長
朝日 等治 委員
竺原 晶子 委員
鳥羽 昌明 委員
福井 康夫 委員

執行部

健康福祉部、教育委員会

教育福祉常任委員会には7件の議案と1件の陳情が付託され、平成30年12月13日(木)に委員会審査が行われました。

議案第85号 平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)の審査では、小中学校普通教室へのエアコン設置について、設置後は電気料金的大幅な増加が予想されることから、地方交付税措置の要求をはじめとする、財源確保も課題に挙げられました。

審査の結果、付託された議案はすべて全会一致で可決され、陳情第11号については、採択となりました。





【議案等の議決結果】

——平成30年度一般会計補正予算など36議案、
陳情3件を審議——

審議の結果

議案番号	件名	賛成	反対
報告 第13号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	報告受理	
報告 第14号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	報告受理	
報告 第15号	議会の委任による専決処分について(損害賠償の額の決定について)	報告受理	
議案 第65号	専決処分について(平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第6号))	承認	
議案 第66号	専決処分について(平成30年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第3号))	承認	
議案 第67号	平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	
議案 第68号	平成30年度倉吉市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 第69号	平成30年度倉吉市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	
議案 第70号	平成30年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案 第71号	平成30年度倉吉市集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 第72号	平成30年度倉吉市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案 第73号	倉吉市基金条例の制定について	原案可決	
議案 第74号	倉吉市税条例の一部改正について	原案可決	
議案 第75号	倉吉市地方活力向上のための固定資産税不均一課税に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案 第76号	倉吉市立伯耆しあわせの郷の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第77号	倉吉市久米農村広場の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第78号	倉吉市せきがね湯命館の指定管理者の指定について	14	2
議案 第79号	倉吉市関金都市交流センターの指定管理者の指定について	14	2
議案 第80号	倉吉市せきがね簡易宿泊施設の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第81号	倉吉市関金生産物直売食材供給施設の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第82号	倉吉市体育施設の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第83号	倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第84号	倉吉市公民館の指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第85号	平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)	12	4
動議	案第85号 平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)に対する修正動議	4	12
議案 第86号	平成30年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	
議案 第87号	平成30年度倉吉市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	
議案 第88号	特別職の職員の給与等に関する条例及び倉吉市職員の給与に関する条例の一部改正について	12	4
動議	議案第88号 特別職の職員の給与等に関する条例及び倉吉市職員の給与に関する条例の一部改正についてに対する修正動議	4	12
議案 第89号	工事請負契約の締結について(第2庁舎整備工事)	原案可決	
議案 第90号	倉吉市文化活動センターの指定管理者の指定について	原案可決	
議案 第91号	公平委員会委員の選任について	同意	
選挙 第1号	倉吉市選挙管理委員会委員の選挙について	指名推選	
選挙 第2号	倉吉市選挙管理委員会補充員の選挙について	指名推選	
議会 発議 第10号	待機児童解消、保育士等の処遇改善及び保育の無償化のための必要な措置を求める意見書提出について	原案可決	
動議	議長坂井徹君の不信任の動議について	4	11

※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記しています。



平成31年1月第1回臨時会 議案等の議決結果

【臨時会とは?】

突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために、臨時招集される議会のことをいいます。

審議の結果

平成31年1月第1回倉吉市議会臨時会が、1月11日(金)に開催され、平成30年度一般会計補正予算などについて審議されました。

会議録(質問、答弁など)は、3月中旬より市立図書館でご覧になれます。市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

議案番号	件名	賛成	反対
議案 第 1号	平成30年度倉吉市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	
議案 第 2号	市道の路線の認定について	原案可決	



会派・個人 視察報告【平成30年11月～平成31年1月分】

行政視察の詳しい情報は、倉吉市議会のホームページをご覧ください。

[倉吉市議会](#) [検索](#)

期 間	11月5日(月)～6日(火)	旅費総額	21,160円
視察先・目的	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所	平成30年度市町村議会議員研修 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」	
視察者(会派)	大津昌克		1人
期 間	11月14日(水)～16日(金)	旅費総額	373,600円
視察先・目的	栃木県宇都宮市 宇都宮市文化会館 茨城県取手市 取手市役所	第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮 行政評価について	
視察者(会派)	大津昌克、大月悦子、福谷直美、藤井隆弘、丸田克孝		5人
期 間	11月14日(水)～15日(木)	旅費総額	76,920円
視察先・目的	栃木県宇都宮市 宇都宮市文化会館	第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮	
視察者(会派)	新福井康夫		1人
期 間	1月17日(木)～18日(金)	旅費総額	21,160円
視察先・目的	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所	平成30年度市町村議会議員研修 「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～」	
視察者(会派)	大月悦子		1人

由田隆議員・朝日等治議員が辞職

由田隆議員から議員の辞職願が提出され、1月11日付けで由田議員の辞職が許可されました。
朝日等治議員から議員の辞職願が提出され、1月31日付けで朝日議員の辞職が許可されました。



行かいや、議会に

皆さんの生活に直結した重要な問題が審議される市議会。倉吉市議会では、定例会の本会議や常任委員会、特別委員会の審議を公開しており、自分の選んだ議員がどのような活動をしているのかを目の前で見ることが出来ます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してみませんか。

市政と市議会

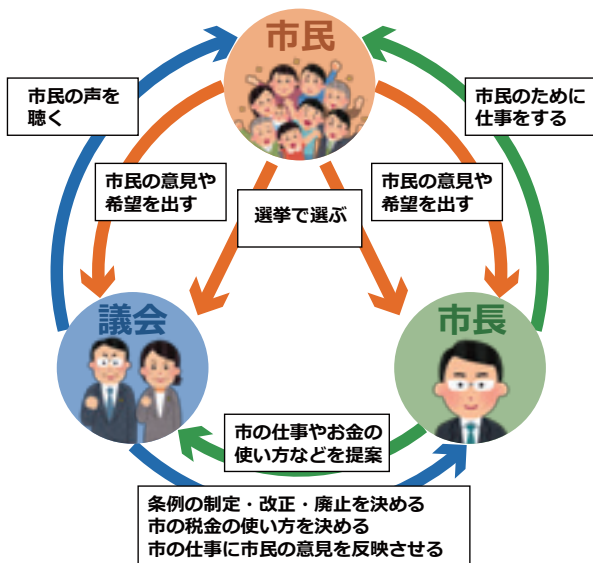
倉吉市をより暮らしよいまちにするためには、市民の皆さんで話し合い、市政を運営していくことが大切です。しかし市民全員で話し合いを行うのは難しいので、選挙によって市民の代表者となる市議会議員を選び、市民の皆さんの代わりに話し合いを行います。

市議会は市議会議員によって構成され、重要な市政運営の方針を決める役割を持つ意思決定機関(議決機関)です。

また、議員と同じく選挙によって選ばれた市長は、市議会で決定した意思に基づいて実際の仕事をを行います(執行機関)。

市議会の運営と活動

議会には、定例会と臨時会があり、定例会は年4回(3月・



市長と市議会は対等の立場に立って、お互いにけん制しあいながら、車の両輪のように市政の発展のために活動している。

6月・9月・12月(開かれます。臨時会は、臨時に議会を開く必要があるとき、その都度開かれます。

専門的、能率的に議案を

審査・調査する「委員会」

議会では決定する必要がある皆さんの議案が市長から出されます。これらの一つ一つを議員全員が本会議で話し合っているとき、長い時間がかかります。そこで、本会議で決める前に話し合う内容により分担し、細かいこ

くらすけくん
倉吉市議会に行ってみる

初めて
行くわあ



③入場します。着席したら傍聴開始です



①議事堂入口から入ります



市民課などはこちら
※2階までは市役所東側入口のエレベーターもご利用いただけます。

傍聴席に入る前に

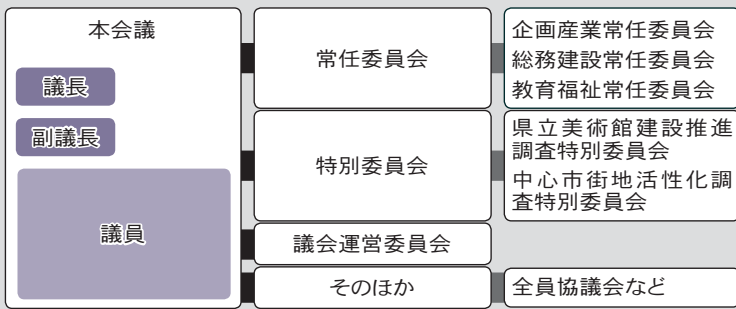


傍聴席に入る前に、傍聴人受付簿に記入してください。

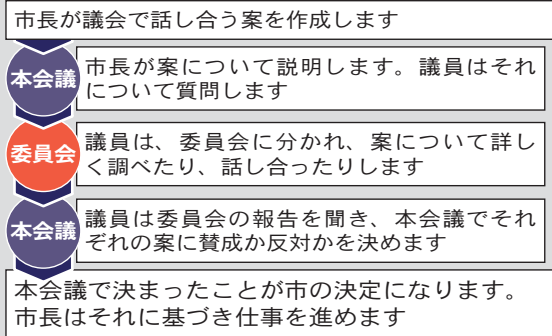
②傍聴人受付簿に記入します



本会議と委員会



議会の流れ



とまで詳しく調べ、わからないことを聞いたり、意見を言ったりしています。これを「委員会」といい、委員会でも多数決で賛成するかどうかを決めています。

それぞれの所管する事項を審査
― 常任委員会

市行政の事務は幅広く複雑なため、専門的に関係の案件を審査するための機関として定められたものを、常任委員会とい

ます。

倉吉市議会には現在、総務建設常任委員会、企画産業常任委員会、教育福祉常任委員会が設置されています。

議会の運営をスムーズに
― 議会運営委員会

議会の運営をスムーズに行うために設けられ、定例会の日程や各党派への連絡・調整、その他議案の審査も行います。

必要に応じ臨時に設置される ― 特別委員会

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

倉吉市議会には現在、県立美術館建設推進調査特別委員会と中心市街地活性化調査特別委員会が設置されています。

傍聴してみませんか

傍聴は、市議会活動にふれる最も身近な方法です。

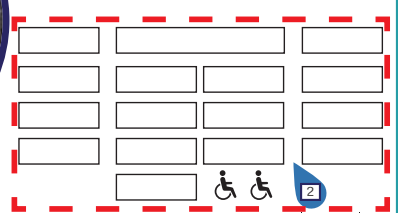
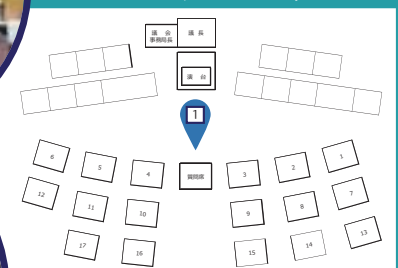
本会議や委員会には、市長をはじめ副市長、教育長などが出席していますので、どのような方針や考えで市政が進められていくのかを知ることができます。

また、皆さんが選んだ市議会議員の活動や、市政の方針などを身近に知るためにも議会の傍聴してみませんか。

傍聴人受付簿に記入していたら、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

議場に來ることが難しい場合は、ケーブルテレビ放送や議会ホームページなどでも議会の内容をご覧になることができます。

議場ってこんな感じかあ！



傍聴席は64席。うち車いす用は2席です。

傍聴には

ルールがあります

- ・ 議席に入らない。
- ・ 会議を妨害したり、人に迷惑を及ぼす行為をしない。
- ・ 議場での言論に対し、拍手などをしない。
- ・ 騒いだり、示威的行為をしない。
- ・ 飲食・喫煙をしない。
- ・ 撮影や録音は議長の許可を受ける。

など

傍聴人出入口前に「傍聴の心得」が掲示してあるだけ。ルールを守って静粛に傍聴せないけんで

議会傍聴は市政運営、議員活動、議会の様子を知るええ機会だなあ。委員会も傍聴できるだって





議会傍聴者
 (倉吉市明るい選挙
 推進協議会委員)
内田 和恵さん

平成31年 3月
第2回 倉吉市議会定例会

【会 期】2月22日(金)～3月20日(水)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時 間	内 容
2月22日	金	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明
23日	土			休 会
24日	日			休 会
25日	月	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
26日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
27日	水			休 会
28日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問
3月1日	金			予 備 日
2日	土			休 会
3日	日			休 会
4日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑
5日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑 ～委員会付託
6日	水			予 備 日
7日	木	委員会		教育福祉常任委員会(予定)
8日	金	委員会		教育福祉常任委員会(予定)
9日	土			休 会
10日	日			休 会
11日	月			予 備 日
12日	火	委員会		総務建設常任委員会(予定)
13日	水	委員会		総務建設常任委員会(予定)
14日	木	委員会		企画産業常任委員会(予定)
15日	金	委員会		企画産業常任委員会(予定)
16日	土			休 会
17日	日			休 会
18日	月			予 備 日
19日	火			議事整理日
20日	水	本会議	午前10時	委員長報告 ～付議議案の討論・採決

「12月定例会を傍聴して」

—さまざまな質問が飛び交う市議会

12月定例会では市議会議員1人ずつからの質問がありました。内容は男女共同参画推進、子どもは宝、教育、環境、防災、便利な交通網を生かしてのまちづくり、都市計画、市長の政治姿勢とさまざま。また、先日ニュースで取り上げられていた八頭町の中学生議会にちなみ、高校生議会の開催についても、ある市議会議員があげておられました。

—若いときからもっと市政に関心を

倉吉市議会は、毎回、傍聴者がちらほらしかいらっしゃいませんが、一度、ある高校の生徒たちが、先生と傍聴に来ていました。平成28年6月に選挙権が18歳からになりました。これからの未来、若者の中から、市議会議員になり、倉吉市政の中心となる人も出てくるかもしれません。若いときから、市政や市議会に深い関心をもってもらうためには、どうしたらよいか、現代の大人の必然的な課題だと思います。

平成29年10月から、倉吉市議会では女性2人の市議会議員の姿があり、うれしくもありました。これからは、男女を問わず、老若を問わず、市議会議員になるべく多くの人に出てほしいと思っています。

平成30年12月1日現在の選挙人名簿登録者数は39,872人だそうです。市民の1票ずつの動きが楽しみです。

…ケーブルテレビ放送あり (※常任委員会は、録画放送)
 …手話通訳あり
 ※3月定例会の詳しい日程などは、倉吉市議会のホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

倉吉市議会 検索

後記

現市庁舎の建設当時の貴重な映像が新たに公開され話題となった。周辺整備や分庁化が進んだ現在の姿では分かりづらいが、そこには行政機能と議会機能が東西に対峙するよう配置された。低層部ではがっちり繋がりが一体となった姿がはつきり分かる。

建築家丹下健三氏の代表的作品に広島平和記念資料館や代々木体育館などがあるが、いずれも「誰のため『何のため』の設計思想と、それに裏打ちされた造形美が備わっていて独特の佇まいに魅了される。そのデザインにどんな意図が込められているのかと想像力もかきたえられる。

議会が行政の監視役としてきちんと機能しているか？そして市民の安心安全の為に行政と一体となって課題解決に取り組んでいるか？我々市議会は常に市民目線で自問自省を心掛けたい。そして市民からも議会傍聴をはじめ、さまざまな形で議会を応援していただく、この議会をたよりにするためのツールでありたい。

(編集委員 鳥羽 昌明)